

深めよう 地域のふれあい 広めよう ふくしの輪

白方地区社会福祉協議会広報誌

第 4 号

発行責任者 富山 明  
編 集 総務グループ

事務局 白方コミュニティセンター  
T E L 029(287)3534

# ふくし白方

## 平成21年度の福祉活動を顧みて

白方地区社会福祉協議会 副会長 川崎 邦勝



今年度を顧みて、白方地区 7地域で①ふれあい型食事サービス事業②見守りネットワーク事業を重点に推進してきた。

白方地区社協は、「脳に学ぶ高齢者とのコミュニケーション」の研修を通して、ふれあい協力員・調理代表者を支援してきた。過般、「これからの地域活動を考える会」を開催し、7地域の代表者から活動状況の発表があり、各地域の特性を活かしながら、命題に真摯に取り組んでいる様子に感激した。各地域の活動

の中で、いろいろな難問や諸課題があることも浮き彫りになった。未曾有の急速な高齢化社会の福祉活動を考察する時、行政の支援・村社協の叡智・地域の活力が三位一体に融合し合って途を拓く時が現実に来ていると痛感した。住民参加型のボランティア活動は、「私を生きながら公に奉仕する」ことなので、時間・労力・責任等が有限性であることを関係者が十分に理解し合って初めて福祉活動が継続的に推進されるものと思う。

白方地域の福祉活動が、新しい文化と歴史の礎となり、皆が「この地に住んで良かった」と笑顔で話し合える福祉の郷に昇華することを望んで止みません。

## 「これからの地域福祉活動を考える会」が開催されました

2月22日(月)、「白方地域で実施中 互いに学び合う地区社協活動」のテーマで各地域の7人の代表がそれぞれの地域での活動を発表しました。

### 白方地域

発表者：蓮田 弘



#### 活動実績 (延べ参加人数)

1. ふれあい食事会 (268名)
2. 宅配食事 (236名)
3. 見守り訪問 (対象者 8名)
4. ふれあい敬老会 (125名)
5. 世代間交流 (62名)



カーボランティア  
→宅配スタッフへ



宅配スタッフ  
→利用者へ



会食懇談



ふれあい敬老会



世代間交流

## 豊岡地域

発表者：橋本 美晴



- 見守りネットワーク事業、対象者2名を通常は協力員2名/1回で実施。
- ふれあい型食事サービス事業 【会食型】対象者5～7名を会食と談笑で接待する。【宅配型】は対象者1名を協力員2名/1組で配達。
- その他の事業として、ふれあい敬老会・サロン・世代交流等、対象者18名を21年度は、全員参加によるシルバー健康体操を実施。



平成22年2月10日(水) 食事会の様子



ふれあい敬老会の様子

## 岡地域

発表者：橋本 汎



- ふれあい食事会及び食事配食活動 対象者14名
  - ふれあい食事会で実施している主な活動 ①漫談テープを聴く(綾小路公麿) ②ビデオ東海村民話 ③クイズに挑戦 ④ふれあいサロン ⑤介護予防体験教室 ⑥口腔ケア講座 ⑦楽しいスポーツ(ペタンクなど) ⑧健康と福祉に関する紹介 ⑨東海村の歴史紹介 ⑩社会(新聞)話題の紹介 ⑪繊細な日本人の紹介 ⑫講演会で聞いた話の紹介などである。そしてこれらの活動内容は、対象者の意見を取り入れた参加型の形式にしていることが特長ではないだろうか。
  - 食事配食活動 月4回、ふれあい協力員男性7人で挨拶、雑談等で見回り実施
- 見回り活動 対象者2人 支え合い協力員4人が、2人1組で月2回交替で実施
- 課題 (1) 参加対象者の増加 (2) 健康で長命な生活支援活動 (3) 魅力ある食事会



口腔ケア出前講座



協力員・高齢者の踊り



クイズに挑戦(間違い探し)

## 百塚地域

発表者：高橋 康夫



年間事業計画としまして

- 1. 見守り支え合い事業      2. 敬老会      3. サロン事業
- 4. ふれあい食事会          5. 配食

に取り組んでおります。活動は42名のサークルメンバーで行動しております。今回はサロン事業とふれあい食事会について報告します。

サロン事業は年4回、4月はお花見（お茶をたてお手前を披露）、7月はソーメン流し（読売新聞7月31日、いばらき版に掲載）、10月は紅葉狩り（バーベキューと玉入れ、輪投げ）、12月はクリスマス会（ツリーを飾りダンスパーティー）参加者は毎回50～60人程度です。ふれあい食事会は、2回/月、調理8名、カーボランティア2名、接待7名で対応、毎回20名程度の参加者あり、懐メロ、高齢者体操、手遊び、ボール遊び等を行い好評です。



ソーメン流し



クリスマス会スナップ



敬老会スナップ

## 亀下地域

発表者：宮本 荘一



### 活動の概要

亀下ふれあいサークルは、旧在宅支援サークルを継続して発足し、会員40名で活動を行っています。年間の主な活動は次のような事業を実施。

- 1. 総会は、年度初めの4月に実施      2. ふれあい食事サービス事業は、対象者17名
- 3. ふれあい敬老会は、10月に実施（75歳以上、対象者65名）
- 4. 見守りネットワーク事業（対象者3名を各班毎、3～4名で実施）
- 5. 宅配型（食事）サービス事業（対象者4名）      6. 1回/年の会員研修

### ○課題

- 1. 各事業を実施するに際して、予算が不足である      2. 会員は高齢化している



ふれあいいきいきサロン 平成21年7月28日



ふれあい敬老会 平成21年10月21日

## 豊白地域

発表者：河野 弘仲



事業の概要は、ふれあい食事サービス事業（2回/月、対象者7名）、2週目は歌、塗り絵、ちぎり絵アレンジフラワー、トランプ等楽しいレクレーションを取り入れて行っている。4週目は主にシルバーリハビリ体操で健康管理をしている。見守りネットワーク事業は対象者5名、協力員16名で、地域に根付いた見守り活動に取り組んでいる。その他の事業では、ふれあい敬老会（1回/年）、ふれあい交流会「サロン」（2回/年）等、自治会福祉部会と共催で実施。高齢者、子供会、その他の部会関係者や外部からのボランティアの協力を得て、歌の合唱、カラオケ、各種ゲーム、詩吟、琴演奏等で大変喜ばれている。



アレンジフラワー作り



ちぎり絵



見守り活動の様子



ふれあい敬老会

## 村松北地域

発表者：足田 浩



21年度の実施事業は、ふれあい食事会を、第2週/月は、健康体操主体に、第4週はゲームを主体に行っています。宅配型食事は、対象者1名、スタッフ14名です。見守りネットワーク事業は、対象者22名、協力員4名です。その他の事業は、4月：ふれあい花見、75歳以上の高齢者を招待。9月：ふれあい敬老会。11月：ふれあい「新ソバを楽しむ会」はふれあい協力員の交流を図る。ふれあい食事会参加者を招待。

「住んで良かった安全で安心の街づくり」をめざしています。



ふれあい花見会



ふれあい敬老会



新ソバを楽しむ

## あなたも『ふれあい協力員』としてボランティア活動をしてみませんか!!

本会の事業は全て「ふれあい協力員」の活動が基盤となっています。できるだけ、多くの地域住民の方に活動への協力をしていただくことが地域福祉充実の鍵となります。本会では多くの方々の参画を願って、いつでも「ふれあい協力員」の希望者を受け付けております。ふれあい協力員となって地域福祉活動に参画してみようと思っておられる方は下記までご連絡ください。

白方地区社会福祉協議会事務局まで

TEL 287-3534